



平成30年度春号 (NO. 31)
 発行：竜丘地域自治会
 編集：地域振興委員会
 問合せ先：(0265) 26-9303

竜丘地域自治会総会が開催されました

竜丘地域自治会では4月23日に総会が行なわれ、平成29年度の事業報告・決算報告が承認されました。また、平成30年度の事業計画・予算についても承認されました。地域の皆さんと力を合わせて、様々な事業を推進していきます。よろしくお願い致します。

(竜丘地域自治会)

【平成29年度決算 収入総額 36,768,081円】

事業項目	金額
自治会費	15,799,000
交付金及び補助金	11,238,262
太陽光売電収入	100,000
その他	826,453
繰越金	8,804,366

【平成30年度予算 収入総額 37,312,800円】

事業項目	金額
自治会費	15,300,000
交付金及び補助金	11,473,600
太陽光売電収入	100,000
その他	443,538
繰越金	9,995,662

【平成29年度決算 支出総額 26,772,419円】

事業項目	金額
総務費	7,967,504
区長会	2,633,352
地域振興委員会	3,977,392
安全委員会	1,742,511
福祉健康委員会	2,756,047
環境委員会	1,858,624
公民館	5,309,608
特別委員会	227,381
予備費	0
積立金	300,000

【平成30年度予算 支出総額 37,312,800円】

事業項目	金額
総務費	8,965,000
区長会	2,964,000
地域振興委員会	5,349,000
安全委員会	1,878,000
福祉健康委員会	3,054,000
環境委員会	2,312,000
公民館	5,872,000
特別委員会	320,000
予備費	6,498,800
積立金	100,000

竹の中から姿を現したのは・・・ ～しあわせ桜～



鷺流峡（県道米川飯田線）の不法投棄対策の一環として、竹林整備に取り組んでいることはご存じのことと思います。竹林を整備した場所から高さ約20㍍、根元の太さは3㍍30㍉。樹齢は推定約150年のエドヒガンザクラが姿を現しました。根元から4本に分かれ、四葉のクローバーのように縁起が良いことから、伐採したメンバーの一人が「しあわせ桜」と名付けました。

急ぎょ、夜桜のライトアップを企画し、地域の皆さんにも好評いただきましたが、あくまで不法投棄を抑制するためのものです。今後は、地域の環境のシンボル、観光資源の一つになればと期待するところです。今年見逃した方は、ぜひ来年ご鑑賞ください。（地域振興委員会）

連載シリーズ ～ 紹介します ～ 「時又獅子」



八王子神社の境内にある時又公民館の2階に、一体の獅子頭があった。かなり傷んでいたが、どの時代の獅子頭かと修理師に診てもらった。江戸時代の後半か明治初期の作で、神社の祭に舞っていたものと思われるとのこと。凛々しい顔立ちの雄獅子、修理して獅子舞を復活させたらというアドバイス。修理代は45万円。自治会から10万円補助してもらい、あとは寄付金でまかされた。

二人舞い用の獅子頭とのことだが、舞いの記録も記憶も見当たらない。折角だから何とか復活したいと若者数人が立ち上がった。

平成28年3月の時又ふれあいセンター落成式に披露しようと練習を重ねた。他地区の獅子舞を見学し、自分たちで笛の曲を作り、インターネットで舞いを習った。初披露は3分ほどの舞いであったが好評だった。昨年の秋からは八王子神社の大祭に獅子舞を披露している。

獅子舞保存会の会員も徐々に増えてきて、末永く続けていきたいと思っている。

(時又獅子舞保存会 顧問 木下和彦)

十二年に一度の御開帳 ～伊那十二薬師～



平成30年4月5日～11日までの間、伊那十二薬師 御開帳が行われました。

薬師如来は体のけがや、心の病を治して下さる仏様です。伊那十二薬師は1662年からの古い歴史があり、駄科阿羅多薬師堂は四番札所です。

期間中は天気が定まらず寒い日もありましたが、900人を超える大勢の老若男女の方が訪れてくださいました。手書きの文字に朱印が押された朱印帳を抱え、御堂内に飾られた像や天井絵をゆっくり見ておられました。「12年後はもう来られん

し、見れんで、しっかりと目に焼きつけておかんとあ」と笑って話され、次の札所に向かわれました。

阿羅多薬師堂は、普段は近くの方の寄り合いの部屋として使われています。来たる12年後の桜の季節に、ぜひ、お詣りにお越しくださいませ。



(駄科 伊東恵子)

「たつおか四季報」は年4回発行しております。紹介してほしい！という団体や、地区のこんなことを載せてほしい！など、話題提供して下さる方大歓迎です。ぜひ、ご連絡ください！

(たつおか四季報編集委員会)